令和７年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
成果報告書
①（基礎データ・公演事業の実績値等）

地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業	
団体名	有限会社プーク人形劇場
施設名	プーク人形劇場
内定額	8,838　（千円）

（1）令和7年度　助成対象事業一覧

※実績報告書様式13－2(2)事業内容 から転記してください。
　複数の事業類型（公演・人材・普及）が助成対象となっている場合は、それぞれすべて転記してください。

事業番号	事　　業　　名	実施日程	実施会場
公-01	プーク人形劇場世界の人形劇シリーズ 人形劇団プーク×ソフィア人形劇場共同制作公演『カモメに飛ぶことを教えたドラ猫の物語』	2025年6月25・26、29・30日 （7回公演）	プーク人形劇場
公-02	人形劇団プーク子どもの劇場『12の月のたき火』	2025年12月24・25・26・27・28・29日 2026年1月2・３・４、６・7日	プーク人形劇場
人-01	つくって楽しい、劇あそび！人形劇教室	2025年5月23～25日、8月23～25日、9月13～15日、2026年2月13～15日、3月26～28日	プーク人形劇場 ５階ホール、舞台
人-02	保育教材実践講座	2025年10月16日、25日、11月14日、12月4日、13日、2026年1月16日、25日	プーク人形劇場 5階ホール
人-03	人形劇の基本　Vol.3	2025年8月27日、9月19日、26日	プーク人形劇場 5階ホール、舞台
普-01	「カモメに飛ぶことを教えたドラ猫の物語」アウトリーチ公演	2025年6月28日 7月5・6日	和光大学ポプリホール 大島町開発総合センター

（2）〔基礎データ〕

※ 交付申請書から転記してください。令和7年度について見込み等の暫定値だったものは、確定した数値を記入してください。

※ 実施中止分を含まない実績値を記入してください。

【1. 事業本数】

項　　目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
年間事業本数（※1）	主催事業	28	28	31
	公演事業	7	7	8
	（内、本助成対象事業本数）	3	3	2
	人材養成事業	6	6	7
	（内、本助成対象事業本数）	3	3	4
	普及啓発事業	2	2	3
	（内、本助成対象事業本数）	1	1	2
	共生社会事業			
	（内、本助成対象事業本数）			
	その他　内容：　記入してください	13	13	13

※1 事業の延べ実施回数ではなく、事業本数を記入してください。

【2. 貸館日数】

項　　目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
貸館日数	ホールごとの貸館日数	325	356	331
	ホール名：プーク人形劇場　座席数：106	128	142	177
	ホール名：5階ホール　座席数：最大50名	197	214	154
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			

【3. 施設利用者数（事業利用者数）・開館日数・利用可能日数・利用日数・利用率】

項　目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
施設利用者数（※2）	主催事業入場者・参加者数	11,601	11,457	12,028
	公演事業	10,573	10,252	10,715
	人材養成事業	460	570	516
	普及啓発事業	568	532	697
	共生社会事業			
	その他　内容：	0	103	100
	貸館事業入場者・参加者数	7,238	7,198	10,843
	その他　内容：記入してください	1,562	1,511	1,500
	計	20,401	20,166	24,371
開館日数		360	350	330
施設の利用可能日数（＝365－（保守点検日数+休館日数））		332	338	323
施設の利用日数		326	321	300
施設の利用率(%)（＝利用日数/利用可能日数）		98.2%	95.0%	92.9%

備考	

※2 実演芸術の公演等を鑑賞する者、ワークショップ等に参加する者、その他の劇場・音楽堂等の事業を利用する者の延べ人数を記入してください。
劇場・音楽堂等のスタッフや、併設施設（美術館、図書館等）のみへの入場者、事業関係者（出演者、指導者、スタッフ等）は除きます。
レジデントカンパニー・アーティストの稽古利用等の場合は「その他」に記入してください。

【4. 公演事業データ】

※ 交付申請書から転記してください。令和7年度について見込み等の暫定値だったものは、確定した数値を記入してください。

※ 実施中止分を含まない実績値を記入してください。

事業種別		事業本数	公演回数	入場者・参加者数	事業本数内訳						
					演劇	音楽	舞踊	伝統芸能	演芸	総合（※3）	その他
令和5年度	主催公演（※1）	9	47	4,623	7				2		
	共催・提携公演（※2）	13	83	7,785	9				2		2
	貸館公演	18	34	3,120	2	4			9		3
	計	40	164	15,528							
令和6年度	主催公演（※1）	9	39	3,782	7				2		
	共催・提携公演（※2）	9	87	8,421	4				4		1
	貸館公演	25	53	4,900	3	6			16		
	計	43	179	17,103							
令和7年度	主催公演（※1）	10	42	5,150	8				2		
	共催・提携公演（※2）	11	95	9,099	10				1		
	貸館公演	35	54	4,693	2	6	1		25	1	
	計	56	191	18,942							

※1 名義主催は除きます。
※2 名義共催を含みます。
※3 「総合」には、フェスティバル等における事業数を記入してください。

（3）各公演事業における実績値 及び 評価項目「創造性・企画性」に関する評価指標・目標（値）・実績（値）

- 公演事業について、助成対象事業ごとに目標（値）と実績（値）を記入してください。
- 入場者数・入場者率（目標値）は**「交付申請書」**から転記してください。
- 有料入場者数・有料入場者率（目標値）および評価指標・目標（値）は**「評価補助シート」**から転記してください。

※有料入場者率（%）の計算方法＝**有料入場者数÷公演の設定席数（実績値）合計×100**

事業番号	事業名		入場者数	入場者率	評価指標	目標（値）	実績（値）
公-01	プーク人形劇場世界の人形劇シリーズ 人形劇団プーク×ソフィア人形劇場共同制作公演『カモメに飛ぶことを教えたドラ猫の物語』	目標値	560	88.9%	外部評価委員による作品設問9問（各10点満点）	90点満点／ 目標値:平均65点	88.4点 目標達成
		実績値	568	90.0%	受益者による評価を測定観客満足度	80%以上の獲得	99.5% 目標達成
					新規来場者の割合	35%以上の獲得	39.6% 目標達成
公-02	人形劇団プーク子どもの劇場『12の月のたき火』	目標値	1,200	80.0%	外部評価委員による作品評価設問9問（各10点満点）	90点満点 目標値:平均65点以上	82.2点 目標達成
		実績値	1,320	88.0%	受益者による評価を測定観客満足度	80%以上の獲得	87.8% 目標達成
		新規来場者の割合				35%以上の獲得	39．3% 目標達成
		目標値					
		実績値					

令和７年度

劇場・音楽堂等機能強化推進事業

成果報告書

②（評価）

地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業	
団体名	有限会社プーク人形劇場
施設名	プーク人形劇場
内定額	8,838　（千円）

（1）各公演事業の自己評価

「成果報告書①（基礎データ・公演事業の実績値等)」に記載の入場者率・評価指標・実績（値）等に言及しつつ、自己評価と自己評定（※1）を記入してください。

（※1）…S～D で記入してください。

※太枠内に記入してください

事業番号	事業名	自己評価
公-01	プーク人形劇場世界の人形劇シリーズ 人形劇団プーク×ソフィア人形劇場共同制作公演『カモメに飛ぶことを教えたドラ猫の物語』	入場者数・観客満足度・新しい連携団体の獲得等、全ての目標を達成することができた。本公演は、本年度都内のアウトリーチ公演(普及啓発事業)と、国内巡回公演（ネットワーク強化事業）を併せ持ち、本年度の中核事業であった。国際交流事業を続けるプーク人形劇場の国際共同制作作品として、代表作と言える作品に成長したと自己評価していたところ、本年 5 月 18 日「令和 8 年度児童福祉文化賞推薦作品」として表彰を受けるに至る。
公-02	人形劇団プーク子どもの劇場『12 の月のたき火』	入場者数・観客満足度・新しい連携団体の獲得等、全ての目標を達成し、来年度(2027 年)の巡回公演を行う計画がスタートした。プーク人形劇場からの全国展開へつながる。計画の大きな発展にも期待する。本作品は人形劇団プークの「財産演目」であり、時代を超えて普遍的なメッセージを伝える良質な人形劇として、今後も大切に取り組み続ける価値の高い作品である。令和 7 年度こども家庭庁こども家庭審議会児童福祉文化財として認定を頂いた。

※行が足りない場合は適宜追加してください。

（2）自己評価

評価項目①：創造性・企画性

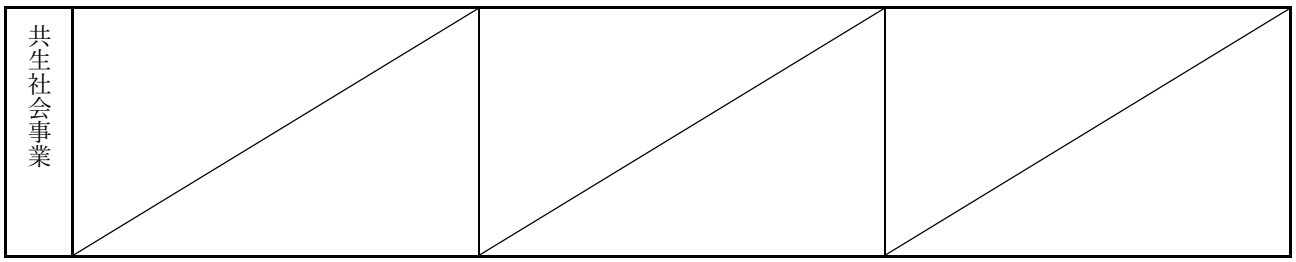
（※1）…S～D で記入してください。

評価の観点	・（企画力）地域の状況と芸術性とのバランスが取れた、特色ある事業計画である。 ・（制作力）優れたアーティストやスタッフ等が才能や技能を発揮し、高い水準の作品制作や各種事業が行われている。 ・（発信力・影響力）圏域内外の実演芸術を牽引する成果が期待できる。 ・（レジデントカンパニー・アーティスト）当該劇場を創造拠点又は準拠点とする実演芸術団体やアーティストを擁する。	
	・自由設定の観点（任意）（※2）	芸術性が高く優れたメッセージを伴う作品は、優れたアーティストとスタッフが切磋琢磨する環境の中から生まれると考えています。その観点から鑑みるに、当劇場は、芸術家集団(劇団プーク)の拠点とする人形劇専門劇場として、俳優スタッフが創造的研磨を続けることのできる優れた環境を有し、かつ豊富な活動実績を携えていると言える。一方で、業界全体をけん引するような作品を絶え間なく発信を続けるためには、これまでの実績に甘んじることなく、内外の優れた事例・アーティストと協働し、学び、試行錯誤な実験を繰り返す事が大切と考え、上記の評価の観点を設定した。

（※2）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

	評価指標（※3）	目標（値）（※4）	実績（値）
公演事業	①外部評価：独自アンケート調査による測定 ②新しい協力者の獲得(実数を測定) ③連携劇場・実演家団体との連携(実数を測定) ④友の会員の獲得(実数を測定)	①90 点満点中　平均 65 点以上のポイントの獲得およびヒアリング調査 ②前年度と同等数以上の獲得 ③２５団体以上 ④新規会員の獲得　年間通じて 5%以上、20 名の拡大	①　公演１：88.4 点　公演２：82.2 点　**目標達成** ②　R6 年度:15 団体 R7 年度：18 団体 **目標達成** ③　R6 年度:25 団体 R7 年度：48 団体 **目標達成** ④　新入会者 22 名 **目標達成**

人材養成事業	①参加者数目標と満足度（ヒアリング・アンケート調査にて測定） ②追跡調査アンケートの集計、計測 ③事業の必要性を感じたか。継続的な受講を希望するか。 　ヒアリング・アンケート調査にて測定 ④講師陣による事後評価、ヒアリング。 ⑤独自の報告書を作成(参加者全員へ配布）成果と課題の見える化と共有化を進める。報告会にて計測	①参加目標数　申請書のとおり。満足度【９0%以上】 ②講座が役に立った。または実践活用した人の割合 80%以上 ③80%以上 ④ヒアリング調査。成果と課題の点検と、高い評価を得る事。 ⑤上記達成度 80%以上とともに、次年度事業へ向けての改善点の点検、評価。	①　全事業満足度 90%以上(大変満足・満足を集計)。 ②　実践活用割合が、No.1/78.6%、No.2/72.7%。活用しなかった参加者の理由「活用場所がなかった」100%。全事業「受講目的達成率」90%以上。 ③　全事業、継続希望率 90%以上。 ④　全事業、講師のヒアリングからは「意義のある活動である」との回答が多く、事業の普及啓発を今後も進めることを継続課題としたい。 ⑤　No.1 において独自報告書作成。実施内容・参加者アンケート、レポート等を掲載。
普及啓発事業	①新しい協力者の獲得(自治体文化政策の拡充を含む) 実数の測定 ②外部評価：独自アンケート調査 ③地域の実演家団体との連携 　実行委員会報告会にて測定 ④参加者アンケートより測定	①自治体からの予算の獲得、名義後援以上の協力関係の構築、上演実行委員体制の拡充 ②90 点満点中　平均 65 点以上のポイントの獲得およびヒアリング調査 ③新しい連携実演家団体の獲得、ヒアリング(報告会）においての、連携の強化状況の確認。 ④参加目標数　申請書のとおり。満足度【９0%以上】	①　**目標達成** ・大島町からの補助金の獲得。 ・大島町より実行委員会への職員の派遣。 ・実行委員会総勢 28 名への拡大。 ・町田公演。共催団体：町田子ども劇場の参画 ②　85.3 点 **目標達成** ③　**目標達成** 新しい連携団体 町田子ども劇場／大島町ハワイアン・フラとの連携 ④　目標 700 名／観客数 748 名 **目標達成** ・満足度：98% **目標達成** 大島町における特記事項：大島町の人口（６038 人）の 8.6%にあたる 522 人の観客が来場した。 (当事業大島公演の前週日曜日が都議会議員選挙投開票日となった。投票日は想定通りであったが、この影響により、大島町が主催する主要イベント：オリンピックメダリストが参加する「水泳大会」、地域 3 カ所の「盆踊り大会」が、大島公演日と重なった。このため、観客数は前回同種事業の観客数(630 名／全島民の 10%以上)に至らなかったことは、残念である。それでも、様々なイベントが重なる中、522 名が参加。取り組みを重ねるごとに、町から支援体制も拡充され、同種事業が大島町に定着していることを実感している。



（※３）・（※４）…Ｒ７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、事業類型ごとに太枠内に自己評価を記入してください。

公演事業	
自己評価	当初設定した目標を全ての事業において達成することができました。 公演①では、ブルガリアの EU 議長国就任に伴う国際交流事業として 2018 年に製作した作品が、コロナ過を乗り越えた 2023 年と今年度に繰り返し公演を行った。回を重ねるごとに、作品の創造性が高まり、PUK の国際共同制作作品の代表作品となった事を素直に喜びたい。本作品は、両国の俳優が互いの母国語で上演するスタイルであるが、今回の公演では、観客が「字幕を観なくても十分理解でき、俳優の演技に集中できる」作品へと発展させることができました。観客満足度も極めて高いことから、その成果が如実に表れたことに喜びを感じます。また同時に、外国人の来場者も多く、英語リーフレット、英語字幕、観客対応通訳と、多言語対応公演としての範を示せる事業となりました。 外部専門家からも、評価を頂き、 **令和７年度　こども家庭庁こども家庭審議会特別推薦児童福祉文化財** **令和８年度　児童福祉文化賞推薦作品** 上記二つを受賞し、ブルガリア・ソフィア人形劇場とも喜びを共有しています。優れた文化財と評価を頂いたことで、次回以降の再演の機会を作りたいと思います。 公演②では、人形劇団プークの代表作であり、今回は 50 回目(50 周年目)の公演となりました。リピート観客層、新規の顧客の獲得にもつながり、満足度も極めて高い公演となりました。 本作品は、演出・スタッフ・出演者の世代を超えて、発展的に継承していくべき「財産的な演目」です。本事業でも継続的に取り組み続け、今回、**令和７年度　こども家庭庁こども家庭審議会児童福祉文化財**　と認定を受けるに至りました。子どもたちから大人まで、あらゆる世代に伝えていくべき普遍的テーマを持つ芸術性の高い作品と認めていただいた証として、当初の想定以上に高い成果を獲得できたと、自己評価しています。

人材養成事業	
自己評価	本事業の創造性・企画性については、設定した評価指標に対し概ね達成された。全事業で参加者満足度は90%以上を占め、事業継続を望む声も 90%以上であったことから、社会的ニーズを的確に捉えたものであることが確認できた。 事業での学びの活用状況については、「実際に活用した」は 70%台にとどまったものの、「講座内容が役立った・気づきがあった」との回答は 85%以上となり、企画内容と参加者ニーズの適合性の高さがうかがえる。 また、各事業はシリーズとしての運営基盤が整いつつあり、安定的な企画運営が行えた。企画にあたっては、関連団体との連携や講師ヒアリングを通じて、参加者ニーズを踏まえた内容を展開することができた。今後は追跡調査アンケートや報告冊子の作成を通じて検証と改善を継続し、さらなる企画性の向上を図る。

普及啓発事業	
自己評価	アウトリーチ公演は当該地域の文化的課題を克服するための、文化運動的な側面を併せ持つ事業であることを実感してきます。大島町は、島しょ部として、子どもの生活圏に優れた文化芸術体験ができる機会が少ないという地理的な課題がある中、当劇場は 10 年にわたって、大島地域で暮らす方々と協働し、海外作品をはじめとした優れた作品の公演を重ねてきました。大島町は、スポーツの島としての地域振興は盛んですが、文化芸術に対する施策も機会も数が少なく、粘り強く活動を繰り返す中で、今回ようやく町からの経済的な支援を頂けるに至りました。2015 年に実行委員会を立ち上げ、回を重ねるごとに人数と共に質が発展し、5 回目の取り組みとなる今回、ようやく島の国際文化交流事業として、町政からの協力・補助金の獲得となりました。これまでの活動の成果を大島町からも認めていただきました。 町田での取り組みについても、プーク人形劇場公演のような、優れた文化体験を「子どもの生活圏で行いたい！」との目標を持った友の会員さんの発案から始まり、ついには地域の鑑賞団体との共催へと発展しました。

	両地域での活動は、「初めての海外作品の鑑賞」と、「初めての外国人との交流」となった青少年も多く、劇場から外に出て行う活動、アウトリーチ公演の大切さを実感いたしました。 このような事から、量質ともに極めて高い事業であったと、自己評価しています。

共生社会事業	
自己評価	

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目②：国際性（任意）

評価の観点	・(国際プレゼンスの向上) 海外の劇場やフェスティバル、実演芸術団体等と連携し、国際共同制作や海外作品の招聘等に取り組んでいる。 ・(国際交流) アーティストや文化芸術関係者の招聘等、人的交流や情報交換が行われている。 ・(新たな創客への取組) 在住外国人や訪日外国人に向けて文化芸術体験の機会を提供する等、グローバルな視座で創客に取り組んでいる。	
	・自由設定の観点（任意）（※２）	当劇場の活動を国際的にも広く発信していることを示す指標として、設定しました。

（※２）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※３）	目標（値）（※４）	実績（値）
①海外劇場･フェスティバルからの招待状の獲得と参加 実数を測定 ②海外劇場･実演家との新しい連携の獲得 実数を測定。次年度以降への事業への発展件数を実数測定。 ③公演１の報告ドキュメンタリー映画「Learning to Fly」上映会（於：大阪万博/ブルガリアパビリオン）の観客数。満足度。 実数測定、パビリオンスタッフからの報告。 （新たな創客への取組） ④観客の反応(アンケート調査) ⑤外国人鑑賞者(参加者)数(実数を測定)	①招待状：6 件以上　参加：2 件以上 ②次年度の新規連携劇場(団体)：4 団体以上 ③観客数定員の 80%・満足度 80%以上、 ④世界の人形劇シリーズへの「また見たい」80%以上／「リピータ-率」40%以上 ⑤40 名以上	①　招待状：8 件、参加：4 件　**目標達成** ウニマ世界大会および世界フェスティバル（韓国・チュンチョン:2025 年 5 月 29 日~6 月 1 日)、ヴァルナ国際人形劇祭（ブルガリア・ヴァルナ：2025 年 10 月 1 日～8 日)、韓国ソウル国際人形劇祭(招聘上演参加：2025 年 11 月 5 日～11 月 9 日)、TITIRIJAI 国際人形劇祭(スペイン・トロ―サ市：2025 年 11 月 21 日~11 月 30 日) ②　6 団体　**目標達成** ザッケス・テアトロ(イタリア) ギレム・アルバ(スペイン) マリボール人形劇場（スロベニア） ガイア・テアトロ(ペルー) 韓国アシテジ、韓国ホワイトキャッツ人形劇団 ③　12 回上演　観客数 600 名、満足度 90%　**目標達成** ④　満足度 99.5％／リピート率 60.4%　**目標達成** ⑤　54 名　**目標達成**

（※３）･（※４）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	国際性の自己評価 本年度事業公演１「カモメ～」は、ブルガリアとの国際共同制作公演です。その成果が海外にも広く認知され、国際フェスティバルへの招待数と参加回数(指標①)が拡大しています。参加したフェスにおいては、プーク人形劇場と国際共同制作を行いたいとの海外劇団からのオファーを数多く頂き、プーク人形劇場企画製作の「世界の人形劇シリーズ」や、２０２６年度開催する「PUK 人形劇場誕生５５周年フェス」の企画推進力となり、国際ネットワークも拡大を実感しています（指標②)。「カモメ～」公演を機に製作したドキュメンタリー映画「Learning to Fly」は、大阪万博での上映も好評でした(指標③④)。さらに、世界各国の国際映画祭にて、数々の賞を受賞しました。想定以上の成果として、「その他：エピソードやグッドプラクティス事例」にて詳細を後述いたします。外国人鑑賞者数も近年増加しています(指標⑤)公演１の「カモメ～」には、ブルガリア駐日大使はじめ大勢の外国人が来場しましたし、公演②「１２の月」にも、在日外国人の来場者が増加しています(指標④⑤)。外国人来場者からは、欧州のような人形劇場が新宿にある事に驚きを含めた称賛を頂き、質の高い作品を上演していることへも共感して頂きました。助成対象公演以外の全公演に通じて、多言語・バリアフリー対策の一層の拡充が求められています。

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目③：地域文化拠点機能

評価の観点	・(文化拠点) 地域の特性やニーズを踏まえ、地域の文化資源を活用するなど、地域の文化拠点として事業が組み立てられている。 ・(地域連携) 地域の関係機関と連携・協力し、地域コミュニティの創生や社会課題の解決等に取り組んでいる。 ・(児童生徒への機会提供) 次代を担う子ども達を対象とした鑑賞や体験事業が行われている。	
	・ホール利用サービス（貸館事業）の向上（任意）（※２）	貸館利用者の満足度・各利用者の観客動員目標の達成
	・自由設定の観点（任意）（※３）	自治体との連携：後援名義にとどまらない協力関係の構築

（※２）・（※３）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※４）	目標（値）（※５）	実績（値）
（文化拠点） ①自主事業における連携団体数(実数測定) ②友の会会員の獲得と継続更新(実数測定) （地域連携） ③地域自治会・商店会との意見交換(役員会・各総会報告) （自治体との連携:後援名義にとどまらない協力関係の構築） ④各事業において計測(実数測定) ・自治体広報誌への掲載、自治体運営SNS への掲載、自治体職員（またはそれに準ずる嘱託）の派遣人数）(実数測定) （子どもへの機会提供） ⑤各３事業（公演・人材育成・普及）アンケート調査測定	①３０団体以上 ②新規入会 5%20 名以上　継続率９０%以上 ③地域の連携団体(自治会・商店会)と当劇場との連携事業が、次年度以降も継続的に行う事。 さらに、連携事業の発展的な展開が行われること。(連携団体の予算拡充・参加者の拡大の目標が明確になる事) ④自治体発行広報誌・SNS への掲載３件以上、自治体職員または嘱託員の、当事業への派遣スタッフ３名以上 ⑤満足度 90%以上　リピート利用 60%以上 ⑤リピーター率 50%以上、「また来たい」80%以上	①　48 団体　**目標達成** **目標を大きく超えて達成が出来ました。** ②　新入会数２４名　継続率９３% 目標達成 ③　目標達成 大島公演への町からの補助金獲得。 町会・商店会とプーク人形劇場との連携の発展(南新宿街づくり実行委員会の発足。経緯：これまでも、プーク人形劇場公演や WS と町会・商店会との連携企画を連携させて臨んできました。２０２５年度２月、より主体性の高い実行委員会が発足。こくみん共済coopなど、地域企業も参加しやすい体制となりました。） ④　掲載回数４件、渋谷区インスタグラムへの掲載１件 大島公演への大島町職員の派遣３名 目標達成 ⑤　公演：リピーター率７４%　また来たい 92% ※人材１：即時定員となる体験コースでは、初めて「抽選」形式で参加者を募集。リピーターと新規参加者両方の獲得。（リピーター 47%、新規参加者 53%）

（※４）・（※５）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	本年度は、連携団体数を大幅に拡大（指標①）することができました。これは、公演１による日本ツアーの成果が大きく影響しており、当劇場が長年続けてきた国際交流活動のひとつの到達点とも言えます。本作品の公演を複数年度にわたり継続して取り組んだ結果、多くの国内団体から注目を集める作品を創造することができたと評価しています。 また、当団体の財産演目である「12 の月のたき火」をはじめ、人形劇として芸術性の高い作品を通年にわたり公演を行う劇場です。新宿・渋谷の近隣エリアや、島しょ部である伊豆大島を含む都内各所、さらには全国各地へとその成果を波及させてきました。 これにより、友の会会員（指標②）、地域町会・商店会、自治体（指標③④）との連携が拡がり、リピーター率も高い（指標⑤）ことが明確となっています。 人形劇を通じて「人と街、都市と世界をつなぐ人形劇場」（前述国際性の項も参照）を体現する活動ができたと、自己評価しています。

（2）自己評価

（※1）…S～D で記入すること。

評価項目④：多様性とアクセシビリティ

評価の観点	・(プログラムの多様さ）プログラムの種類や形態が多様で、幅広い観客や参加者に訴求する。 ・(参画者の多様さ）アーティストやスタッフとして参画する人々の属性（性別、年代、居住地、他）が多様である。 ・(アクセシビリティ）障がいの有無や年齢、性差、国籍、居住地、経済的状況等に関わらず、あらゆる人々と実演芸術をつなぐため、施設の構造・設備上の配慮、プログラム上の創意工夫やサポート、アウトリーチ等が行われている。	
	・自由設定の観点（任意）（※2）	ツアー公演劇場のアクセシビリティー強化に向けて、各劇場の良い点、課題を見出し、今後の劇場機能強化へ役立てる。

（※2）…R7 年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※3）	目標（値）（※4）	実績（値）
（プログラムの多様さ） ①チケット販売・集計、および観客アンケートより測定・・・子育て世代・若年層の利用者数（UD18、UD25 チケット販売数） （参画者の多様さ） ②各種事業における参画者名簿より実数測定 （アクセシビリティ・バリアフリー対応） ③外国人・障碍者の来場者の獲得 ④外国語版リーフレット、英文新聞の発行 （アクセシビリティー） ⑥　ツアー公演実施後の意見交換・報告会、関係者(団体)用アンケートから測定。	①公ー1　計 50 名以上 （公ー2 は「子どもの劇場」のため目標設定はしません。） ②年間通じて 100 名以上（性別、年代、居住地、他の多様さ、その程度を計測） ③40 名以上 ④リーフレット 6000 部　英文新聞(年一回）3000 部 ⑤　課題、優れた点の評価の件数：13 件以上	①　高校生以下のチケット販売数:181 名 **目標達成** ②　300 名以上 **目標達成** ③　外国人の来場者:54 名 何らかの手助けが必要な方:12 名 **目標達成** ④　リーフレット 6000 部　英文新聞(年一回）3000 部 **目標達成** ⑤　評価いただいた件数:16 件 **目標達成**

（※3）・（※4）…R7 年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	指標実測値（①②③）からも、全国各地、外国からの来場者も多く、年齢層も子どもから大人まで、幅広い観客層が来場する劇場であることが分かります。プーク人形劇場は、敷地の制約や建築法上の制限により、階段が多い施設ですが、車いす等、何らかの手助けが必要な方へも、随時対応しています。(指標③) これら支援が必要な方への対応は、公演 1 の作品の日本ツアー公演（NW 強化事業）でも活用し、そのきめの細かさが評価されています。(指標⑤) また、外国語（英語）表記のリーフレットと英文新聞は、外国人にとって極めて有用なツールとなっています。(指標④）国際性の項でも触れましたが、海外フェスへの参加の際も必需品として活用しています。

（2）自己評価

（※1）…S～D で記入すること。

評価項目⑤：自由設定（任意）

評価の観点	①　創造性・企画性、②国際性、③地域文化拠点機能、④多様性とアクセシビリティ、⑥運営体制と持続可能性　の項目では成果や課題に言及しきれない事柄について、自己評価を行ってください。（※2）
	地域にかかわらず、優れた舞台芸術を、子どもの生活圏にまで届ける。 プーク人形劇場の劇場定員(100 名)の限界を超えて、優れた舞台芸術作品の鑑賞の機会を沢山の観客へ届ける。 (普及啓発事業：都内アウトリーチ公演、NW 事業) 上記視点を達成するために、芸術に携わる数多くの団体、劇場・音楽堂、そして自治体との連携を進める。

（※2）…R 7 年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※3）	目標（値）（※4）	実績（値）
地域にかかわらず、優れたプログラムを届ける。 プーク人形劇場の定員 100 名の限界を超える取組。 ①　来場者数の測定・アンケート集計より測定 ②　主催・共催館の獲得、後援・協力団体の獲得。 ③　ファンドレイジング：外部資金の獲得	①　(公演 1「カモメ～」) 公演・普及・NW 含む全 33 回公演の来場者目標　8,866 名 ②　17 団体以上 ③　8 件	①　8,892 名　**目標達成** ②　41 団体　**目標達成** ③　12 件　**目標達成**

（※3）・（※4）…R 7 年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	地域にかかわらず優れた舞台芸術を、子どもたちの生活圏へ届けることを目的とした取り組みは、全ての項目において目標を達成することができました。公演 1 の作品「カモメ～」は、アウトリーチ公演(普及)と日本ツアー公演（NW）を併せて、来場者数は 8892 名(指標①)。定員 100 名のプーク人形劇場を発信拠点として、巡回公演を行うことでの波及力を大きく拡大することができました。また、外部資金の獲得にもつながり、劇場経営の安定化にも貢献しています(指標②③)。

（2）自己評価

その他：エピソードやグッドプラクティス事例について

助成対象事業に関連して、心に響くような印象的な出来事や、他館の参考になるような好事例があれば、具体的にご記入ください。

公演１、２二つの作品それぞれが受賞しました。優れた作品として表彰を受けたことを喜びをもって報告いたします。
公演１「カモメに飛ぶことを教えたドラ猫の物語」
令和７年度　こども家庭庁こども家庭審議会特別推薦児童福祉文化財
令和８年度　児童福祉文化賞推薦作品

公演２「12 の月のたき火」
令和７年度　こども家庭庁こども家庭審議会児童福祉文化財

また、普及啓発事業となった大島公演では、大島町からの補助金を頂いたことは、金額は少額であっても、大島町に事業が定着したことの証左であり、様々な困難がありながらも、10 年以上の長い期間継続してきたことを思い返すと、感動的なエピソードです。今後も継続的に取り組んでまいりたいと思います。

公演１「カモメに飛ぶことを教えたドラ猫の物語」ではもう一つ報告があります。本作品の制作を契機として撮影されたドキュメンタリー映画「Learning to Fly」は、世界の映画祭で複数の受賞をいたしました。
EASTERN EUROPE FILM FESTIVAL - Best Documentary
東欧映画祭 - 最優秀ドキュメンタリー賞
AMSTERDAM NEW CINEMA　FILM FESTIVAL 2025
アムステルダム・ニュー・シネマ映画祭 2025　ベストドキュメンタリー賞
the 4th Dimension International Festival-Best documentary (Indonesia)
第４回ディメンション国際映画祭(インドネシア)最優秀ドキュメンタリー賞
プーク人形劇場はこの映画の共同制作者です。(監督：スベトロ―ザ・ギオルギエフ
本事業の直接的な成果ではありませんが、本事業を通じての国際共同制作作品の制作過程（稽古からプーク人形劇場での公演とツアー公演の様子）と、プークとブルガリアとの人形劇を通じた国際交流の歴史を、丁寧に取材し記録した映画です。本事業を世界中に広く伝えています。Neterra(グローバル配信サービス企業)より、視聴可能。

（2）自己評価

評価項目⑥：運営体制と持続可能性

（※1）・（※2）…R7年度評価補助シートから転記すること。

※太枠内に記入してください

○「実現性」の項目より〈(ア）～（エ)〉

評価の観点	（ア）多様な財源の確保 予算計画が妥当であり、事業収入のほか、各種助成金や寄附金・協賛金等の獲得に努めている。	（イ）広報・営業力 広報計画が充実しており、券売や集客、会員制度等の拡充に努めている。
現状（※1）	大いに務めています。	大いに務めています。
目標(値)（※2）	魅力ある企画を次々と発信することで、さらなる協力者の獲得を目指す。	日々変化する広報媒体に対応し、タイムリーな情報発信に努める
実績(値)	助成金の獲得：アーツカウンシル東京、大島町文化協会補助金、岡山市人権啓発活動補助金 寄付金の獲得 連携劇場からの公演料収入など	年間4回の機関紙の発行、イベントページ、HPの拡充、SNS を活用した広報計画の拡充。友の会員の拡充 2019 年からの推移として、３％の増加(コロナ禍からの回復から拡大へと転化しました。)
団体の自己評価	魅力ある企画計画時からの、連携劇場の呼びかけと、助成申請を相互に呼びかけ、事業に取り組んでいます、時には申請に失敗することも、自他ともにありますが、断念せずに共同して事業に望むことが、信頼の獲得になり、長期にわたっての安定的な財源の確保につながると、自己に言い聞かせて活動しています。	少ない人員の中で、外部デザイナ-を登用し、インパクトの強い広報活動を行っています。 企画力の高い事業を絶え間なく行うことで、広報力の強化を進めています。

評価の観点	（ウ）他館連携 他の劇場・音楽堂等との事業連携や協力・支援を通じて、効果的で効率的な事業運営を行っている。	（エ）設置者 円滑な事業の継続のため設置者と適切に意思疎通を図っており、設置者による人材や財源の確保等が期待できる。
現状（※1）	他劇場との連携の拡大を進め、効果的、効率的な事業展開を進める。	年 4 回の総会を通じ、意思疎通と理解促進を促し、人材確保を進めている。
目標(値)（※2）	連携劇場の拡大と深化進める。	不測の事態にも対応できる体制の強化。
実績(値)	公演 1 作品　日本ツアー公演 連携劇場数 13 劇場 共催団体　21 団体 連携団体　41 団体	本年度より、一般社団法人プーク人形劇場を新たに設立。これまでの有限会社プーク人形劇場は、施設財産管理会社として存続し、一般社団法人プーク人形劇場は有限会社から業務委託を受け、芸術文化に携わる事業を行う事となりました。映像部門の(有)スタジオ・ノーバ、舞台部門の(有)劇団プーク、建物不動産管理の(有)プーク人形劇場と一般社団法人プーク人形劇場の 4 社が互いに支え合いながら事業を継続する体制を確立しました。
団体の自己評価	これまでにないほど多くの劇場・音楽堂をはじめ、鑑賞団体、自治体との連携を拡大することができました。	これまでの上記 3 有限会社法人から、4 法人へと発展的に移行することとなりました。公益性の高い法人格への移行に伴い、これまで以上の活動を期待しています。

○「持続可能性に関するチェックシート」より〈(オ) ～ (セ)〉

評価の観点	（オ）芸術監督 芸術監督等、劇場運営の芸術面を統括する人材が配置されている。	（カ）長期的経営 長期的視点に立ち、劇場運営を統括する、経営実務者が配置されている。
現状（※1）	配置済。	配置済。
目標(値)（※2）		中長期計画へ向けた具体化と確実な実施を行う。
実績(値)	人形劇団プーク((有)スタジオ・ノーバ、(有)劇団プーク、(有)プーク人形劇場、一社プーク人形劇場)の代表者を選出（4 年任期　任期中） 「代表者は人形劇団プークのすべての活動を総覧し統括する」人形劇団プーク規約より	劇場誕生 55 周年を迎える中、施設の定期的な改修も課題となっています。R7 年度は、劇場照明設備の LED 化とユニットの更新工事を行いました。5000 万円を超える工事費でしたが、中長期の経営計画を立て、予定通りに実施出来ました。
団体の自己評価	上記規約に定めた通り、代表者は総会によって選出されます。民主的な運営がなされるための当団体の規約によって定められています。規約を改正することも総会での議決になります。先人の知恵を実感しています。	事業・運営面においては、劇場誕生 55 周年記念事業の準備を 3 年前から始めていました。また、2029 年は人形劇団プーク創立 100 周年を迎えます。100 周年後も見据えた、長期的視点をもって、団体の運営方針、経営方針を建設中です。

評価の観点	（キ）専門人材の確保 今日的な劇場運営に必要な職能や専門性を踏まえ、運営体制が整備されている。あるいは専門人材の確保や育成に努めている。	（ク）職制の整理 芸術監督、館長、支配人、プロデューサー、その他管理職の職位及び職能、一般職員の職務内容等が専門性を基に整理され、役割分担されている。
現状（※1）	大いに務めています。	成されています。
目標(値)（※2）	他の劇場・音楽堂との人材交換を的確に計画し実施してゆく。	現状を維持しつつ、次世代への継承を視野に入れ活動中。
実績(値)	短期養成所を開設。R7 年度 2 名の新しい人材を獲得。次世代の育成を進めています。短期養成所とは別にも、新規雇用者の獲得も進めています。当劇場には、R7 年度に 1 名、R8 年度に 1 名の新しい人材を獲得しました。	R7 年度に 1 名、R8 年度に 1 名の人材を獲得。それぞれ得意とする分野(業務)に従事しています。
団体の自己評価	国際交流活動をはじめ、魅力ある事業を展開することにより、新しい人材の獲得と育成を進めています。	魅力ある事業を通じて、新しい人材を獲得。1 名は友の会の会員から、劇場職員として雇用することとなりました。業務内容も専門職から、一般業務、経理と切り分けて整理を行っています。新しく一般社団法人を設立したことから、業務整理も進みました。

評価の観点	（ケ）世代間バランス 年齢バランスを考慮した人材確保を行っている（若年層の雇用に努めている）。	（コ）ジェンダーバランス 女性管理職比率が 30%以上である。あるいは、女性の管理職やリーダー職への登用に努めている。
現状（※1）	行っています。務めています。	女性職員数 50% 女性管理職 33%
目標(値)（※2）	次世代人材の確保と人材育成は、日々日常活動の中軸です	現状を維持
実績(値)	歴史ある劇場として、年齢による自動的な退職のシステムを採用していません。ベテラン層には経験を基にした職種に、若手はデジタルを駆使した職種にも配置し、それぞれの適材適所とバランスに配慮した劇場運営となるよう注力しています。	女性職員数 50% 女性管理職 33%
団体の自己評価	ベテラン、若手がそれぞれに協力し合える体制を堅持しています。それぞれの世代が互いに連携することで、当劇場の歴史と実績を次世代へ継承していく体制として、うまく機能していると自己評価しています。	男女ともに半数のバランスとなっています。これは特段意図したバランスではありませんが、最適なバランスと自己評価しています。

評価の観点	（サ）ワークライフ・バランス 仕事と育児･介護等の両立支援制度を整備し、推進している。	（シ）コンプライアンス順守 情報セキュリティをはじめ、各種コンプライアンスの順守規定を策定し、必要な研修を行っている。
現状（※1）	育児休業促進ガイドラインの周知徹底。昨年度に男性の育児休業を実施しました。	コンプライアンス室設置済
目標(値)（※2）	随時適切に対応中。	研修の促進
実績(値)	本年度は育児休暇を活用した職員はいませんが、子育て中の職員には、時短勤務を実施中。	本年度もコンプライアンスに関する問題は一つも起きませんでした。情報セキュリティーに関しても、ネットワーク上の通信システムを更新。可能な限りの対応・対策を進めています。
団体の自己評価	男女半数の職場ですが、子育て中の男性職員の時短勤務にも対応しています。「子どもの殿堂」を劇場の使命としている施設として、職員が安心して子育てできる体制造りを推進しています。	引き続き研修を進めるとともに、社会変化に伴う対策を更新し続けています。

評価の観点	（ス）ハラスメント防止対策 職場内及び創作現場におけるパワー・ハラスメント、セクシュアル･ハラスメント等防止のための指針等を策定・周知し、必要な研修を行っている。	（セ）適正な契約事務 アーティストやスタッフと適正な契約書を交わしている。
現状（※1）	ハラスメント対策室設置済	インボイス制度による業務負担の増加は深刻です。公官庁による在日外国人への周知不足も感じています。
目標(値)（※2）	研修を継続・定期的に実施。	フリーランス(特に在日外国人）との間に課題があるが、適正契約書の取り交わしに務めている。
実績(値)	ハラスメント対策室への相談 1 件あり。デリケートな問題として、適切に対応し、現在は解決に至っています。	適切に契約を取り交わし活動しています。
団体の自己評価	毎年 1 回の研修を実施。また、ハラスメントに関するアンケートを全構成員を対象に実施。誰もが気持ちよく働ける職場環境を整えることを配慮し、日々活動しています。	最低賃金の更新に伴う、契約の更新も対処。適切な管理運営を行っていると自己評価しています。

（3）総評

※太枠内に記入してください。

団体の自己評価
創造面では、公演事業の 2 作品が表彰を受け、外部有識者からも高い評価を頂いきました。特に、当団体の長きにわたる国際交流活動によって達成できた作品を、巡回公演によって、沢山の方々に届けることができました。2 か月にわたるブルガリアチームとの共同事業は、当劇場も総力を挙げての事業でしたし、無事に完走できたことに、胸を張って喜びを実感しています。人材育成事業においても、定員を超える申し込みがある大人気の講座として定着しています。アウトリーチ講座へと発展している事も、成果の高い事業への成長として評価しています。 また、本年度は、上記の事業展開と共に、一般社団法人の新規設立と、照明設備の改修を行うことができました。芸術団体が建設した劇場施設は、極めて貴重な存在となっています。建物施設と公益性の高い優れた事業を、次世代へと継承していくための、大きな前進を成し得ることができた、「大きな 1 年間」であったと、自己評価しています。

備考